

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	プロジェクトマネジメント研究小委員会	主 査 名：小栗 新 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：石坂 公一
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・目的・必要に応じて建築プロジェクトのプロセス、組織、資源、調達等の各側面を最適化し、わが国のプロジェクト運営の信頼性を確立することを可能とするマネジメント方式および手法・理論的枠組みとあり方を検討し、国際的な大規模複雑建設プロジェクトにおけるわが国の課題と対応策について提言をとりまとめる。</p> <p>・2013 年度：国内外の大型施設や都市開発などの大規模・複雑な建築プロジェクトの実現において必要とされる信頼性の高いプロジェクトマネジメント方式について、その調査分析を行うことを目標とする。そのために、以下の①～③を実施項目として活動する。</p> <p>①各種プロジェクト方式におけるマネジメント実践事例の調査分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異業種企業によるプロジェクトマネジメント実施例の調査 ・海外建設企業によるプロジェクトマネジメント実施例の調査 <p>②信頼性の高いプロジェクトマネジメント方式に適用される手法・理論的枠組、支援ツール等の調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質マネジメントにおける手法・制度等の調査、比較分析 ・リスクマネジメントにおける手法・制度等の調査 ・契約管理における手法・制度等の調査 <p>③国際的な大規模複雑建設プロジェクトにおけるわが国の課題と対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を特定した事例収集 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：小栗新 (アラップ)、幹事：西野加奈子 (建築・住宅国際機構)、 委員：安藤正雄 (千葉大学)、浦江真人 (東洋大学)、金山裕介 (新日鉄住金エンジニアリング)、楠山登喜雄 (フタバエンジニアリング)、齋藤隆司 (日本郵政)、 関谷哲也 (竹中工務店)、中岡一郎 (大和ハウス工業)、肥田景明 (日本設計)、 平野吉信 (広島大学)、古阪秀三 (京都大学)、村田達志 (山下 PM)、山崎雄介 (清水建設)	
設置 WG	なし	
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/pm/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>今年度は上記①・②・③いずれも着手できたが、来年度も事例・手法・ツールの収集を継続することが必要。 今年度の会合で得られた知見は、以下のとおり：英国におけるコンサルタントの賠償限度設定、競争的対話方式で先行する英国からのフィードバック、英国 Best Management Practice のマネジメントフレームワーク体系、東南アジアでのプロジェクトにおける日系鉄骨ファブの関わり、等。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的に沿ったトピックでの適切なゲストスピーカーを特定すること 2. プロジェクト情報を開示いただくこと